



YFA シニアサッカーリーグにおける
新型コロナウイルス感染拡大
予防対策ガイドンス

2022 年度



YFA シニア委員会

★体調チェックの励行★

毎身体調チェックを行い、下記の項目に該当する場合は試合への出場を見合わせるようにしましょう。

- * 新型コロナウイルス感染症と診断され、医師等により療養解除と診断されていない場合。
- * 試合当日の体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- * 過去7日以内に体調不良があった場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状があった場合）
- * 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- * 海外から日本に入国し、日本国政府が求める緊急避難・予防措置として待機期間が経過していない場合。
- * 一部の地域に緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発令され、その地域への往來があった場合は、帰郷後1週間以上経過しないと、試合には出場できない。
- * 濃厚接触となり、陰性が確認されて7日間が経過していない場合。

★チーム代表者を、「新型コロナウイルス対策責任者」と任命する。

「新型コロナウイルス対策責任者」は下記の事項の徹底をお願いします。

- ・提出書類の不備や虚偽の申請（検温の未実施）等の無い事。
- ・上記の★体調チェックの励行★の項目に該当する選手の出場を認めない。

★試合当日の予防★

- * チームとして、参加者全員の把握をしてください。
- * 試合当日の検温実施。（メンバー表に体温の記入）
- * 運営本部には、非接触型赤外線体温計とアルコール消毒液を常備し、選手交代の際には検温・消毒を実施する。（シニア委員会として、非接触型赤外線体温計を購入。）
- * 基本的に選手のみでの参加をお願いします。（ご家族・友人の応援は、なるべく最小人数で）
- * 試合中・アップ以外はマスクの着用をお願いします。（必ず参加者全員マスク持参）
- * 着替え等は、基本的に車にて行う。ベンチで着替える場合は、密集しない。
- * 試合開始・試合終了の対面挨拶・握手は行わない。（センターサークルに沿って並び挨拶）
- * 試合中に唾や痰を吐くことは極力行わない。
- * 円陣・ハイタッチはやめてください。（円陣を行う場合は密着しない。ヒジタッチなど）
- * ドリンクの共有禁止。（マイボトルにて対応）
- * 試合中、前後半の中間時点で給水タイム（3分間）を設ける。給水時ピッチ外に出る事を

認める。(マイボトル励行の為)

* チームのクーラーの持参禁止。(不特定多数の共有物の禁止)

* ユニフォーム・レガース・タオル等の共有禁止。

* ベンチでは、なるべく選手間の距離を保つ。

* 運営本部もなるべく距離を保つ。

★チーム内に感染者が出た場合★

「コロナウイルス対策責任者」は速やかに各カテゴリー運営委員長へ報告。

各カテゴリー運営委員長はシニア委員長に報告し、シニア委員長は山口県サッカー協会へ報告する。

★リーグ戦について★

・山口県に緊急事態宣言もしくは、それに相当する宣言が発令された場合は、山口県知事及び山口県サッカー協会の指示に従うものとする。

・本リーグ内にてクラスターが発生した場合、又、クラスター発生が懸念される場合は直ちに本リーグを中断し、当委員会にて検討対策会議を行ないその後の方針を決定することとする。

・チーム内及びその近親者等で感染者、濃厚接触もしくはクラスターが発生したことにより既定の日程での試合を棄権する状態が発生した場合のみ特別に次の条件による対応をとることを認める。

①対戦相手が延期を了解することで、1ヶ月以内に日程の調整し、代替日程を決めること。但し、代替日程は、リーグ最終節後1か月以内までとする。

②延期の際、代替日程、試合会場、審判の試合運営に関する全ての手配を延期となった当該チームが負うこと。

③延期について、対戦相手から了解が得られないもしくは、1ヶ月以内に調整が出来ない場合は、延期となった当該チームの不戦敗とする。

④不戦敗の場合、不戦勝となった対戦相手チームは、得点を3-0、勝ち点を3とし、不戦敗チームは勝ち点を0とし、勝ち点をマイナスにはしない。

★リーグ戦が行えない場合の順位について★

(2023 年度の中国大会の出場権)

2021 年度の成績を適用する。

以上、YFA シニアサッカーリーグを運営するうえでのコロナウイルス感染拡大予防対策基本ガイドンスですが、今後の社会情勢によって臨機応変に対応していきたいと思います。
チーム内への周知を徹底していただき、御理解、御協力の程よろしく願いいたします。